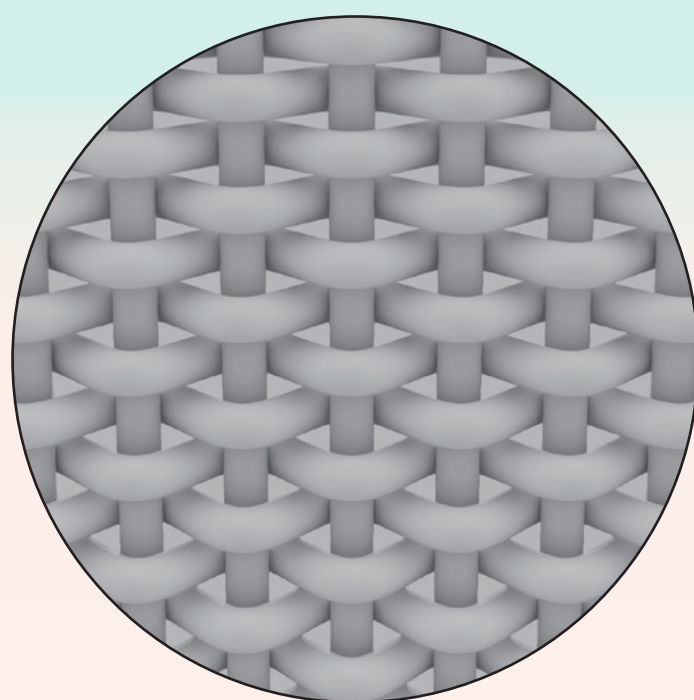


もくろす

木を編む～切断面・曲面を味わう～

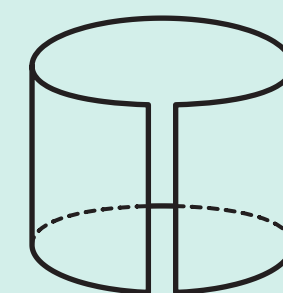
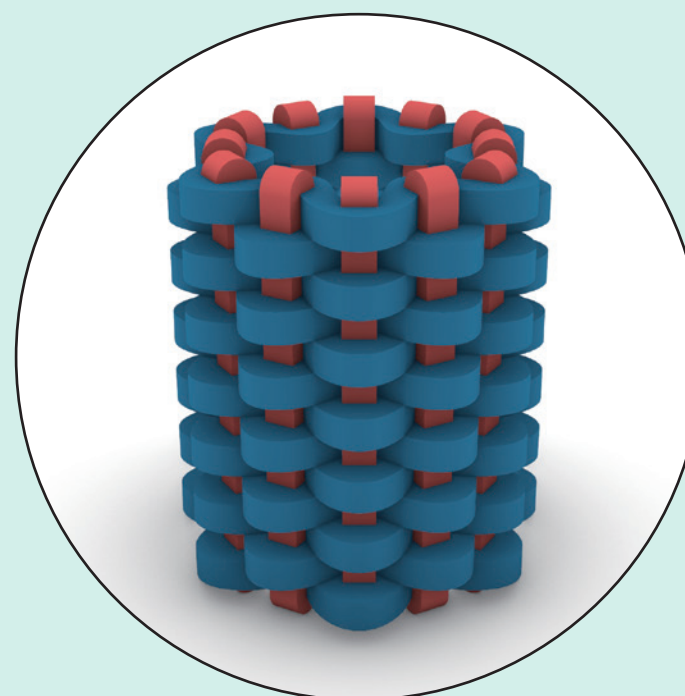
平織という織物組織は、経糸と緯糸を交互に浮き沈みさせて織ることで、丈夫な布を生み出す。
この組織をもとに経糸を真っ直ぐな材、緯糸を波打った材として組むことで新しく丈夫な木材の組み方を考案した。
さらに右に挙げるような、布の動き・組織をもとにした様々な発展型が考えられる。



布を巻く

花瓶

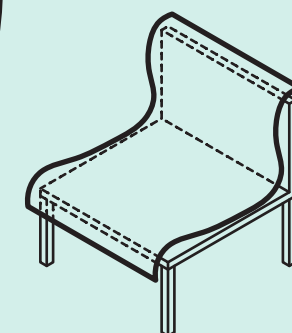
布をぐるりと巻くように1周させることで、円筒が出来る。
花びらのような形状の緯糸を、垂直に伸びた経糸に通していくことで花瓶が出来上がる。



布を掛ける

椅子

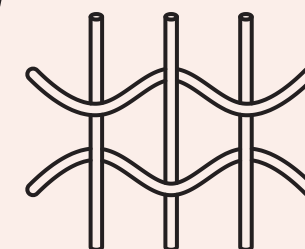
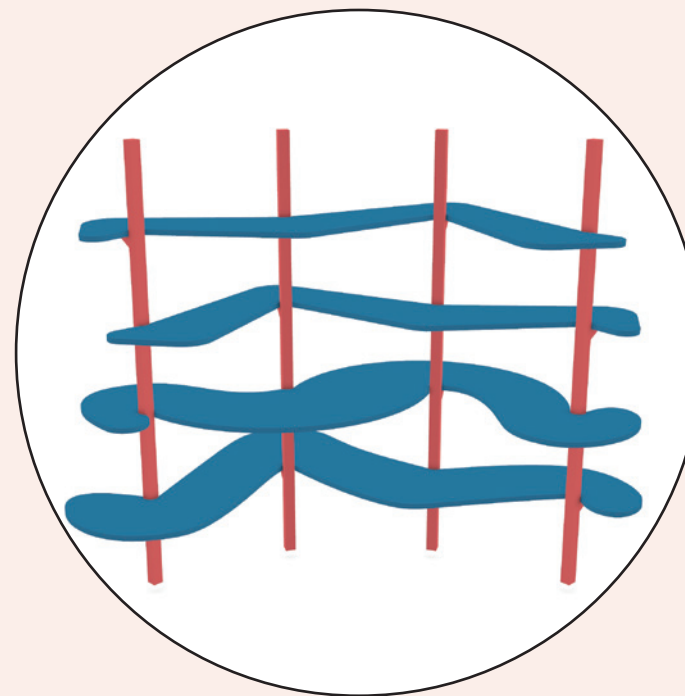
布をふわっと掛けるように連続した座面と背もたれを作る。
既存の骨組みを利用しMDFによる座面の乗っ取りが既製品に個性を植え付ける。



組織を拡大する

棚

経糸のような柱の間を、自由な形状の緯糸のような天板が行き来することで、柱を水平方向に拘束させる。
ビスや接着剤で固定せずに棚を成立させる。



組織を分解する

机

この布の組織を最小単位に分解し、自由形状へ再構築した。
自由な形状がMDFの断面を魅せる。

